

SHIN CLUB 133

(株)辰 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F

tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



今月のトーク/monthly talk

「OTM」 撮影：阿野太一

東日本大震災に際して

2011年3月11日、午後2時46分に突然発生した「東日本大震災」から早いもので1ヶ月を迎えました。このたびの震災で犠牲になられた多くの皆様に心よりご冥福を申し上げますとともに、1日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

被害の多くは専ら津波の影響によるもので、その被害は甚大で過去に例を見ない大災害となってしまいました。東北の一部の町はそっくり消え、また原子力発電所にも被害がおよび、現在も世界中の知能を集結して放射能汚染の拡大阻止に苦慮しています。このことはなんとしても食い止めなければなりません。

また残念なことに弊社のグループ会社であるユニホー仙台営業所、西洋ハウジング仙台支店では人的被害こそなかったものの、4名の社員の家屋が流失してしまうという悲劇が起きてしまいました。グループ会社の仲間として心よりお見舞い申し上げます。

幸い弊社には人的・構造的被害は全くなく、完成した一部の鉄骨造の建築物で内装材に亀裂が入るということがありました。改めて弊社がお付き合いをさせていただいている設計者の皆様の技術力の高さに敬意を表したいと思います。

しかし、この大震災の爪あととはあまりにも大きく、日本全体の景況感は急激に冷え込んでしまいました。少なくとも年末くらいまでは回復基調とはならないと言われていました。弊社を取り巻く環境も建築資材の不足などで明確な納期が未だに確定できず、そのことでお客様とのお約束の完成引渡しに影響を及ぼしかねない要因は多くあります。

このような状況の中、弊社は皆様の信頼に応えていくため、お客様・設計者様と弊社が一体となり、早期の決定、資材発注でこの難局を乗り切りたいと考えております。特に協力業者の皆様には今後被災地復興に伴い労務不足が起こることが想定されますが、弊社に対し絶大なご協力を願ってやみません。

さて、今回の震災でわかったことがいくつかあります。まず、福島県の原子力発電所が東京の心臓部であったこと。日本の、いや世界のオンリーワンの部品工場が東地方に数多く存在していたということ。助け合いの精神がしっかり息づいていたということ、等々。

確かに多くの課題はいろいろ判明しましたが、日本はなんと世界に影響を与えている国なのか、と改めて認識させられました。

今、日本の消費マインドは冷え切っています。花見自粛の動きも広がり、心なしか桜の花にも元気がないように思えてなりません。しかし被災地のことを思えばもっと前向きで元気でなければならぬと思います。今回の災害で、人々は優しい思いやりのある行動を実践しています。まさに弊社、ZENホールディングスが目指している姿でもあります。過去に幾度となく復興したように、私たちはこの試練を乗り越えた時、一つの絆で結ばれ、間違いなく力強い本来の日本人らしさと誇りを取り戻すのではないのでしょうか。

2011年の満開の桜は、日本人が再起を誓った証となるようにしたいものです。

株式会社 辰
代表取締役 森村和男

OTM

「広場を囲む街並みに配慮した、混構造のビル」

麻布十番の中心的な広場「パティオ十番」は、都市計画では広場ではなく幅 25m、長さ 45mほどの道路である。今から 25 年ほど前に広場として整備されたが、取り囲む 10 棟ほどの建物はそれぞれ自由に建てられている。この建物の敷地は、その広場の入口の角地に位置しており、築 35 年、地上 5 階建ての既存の建物から、地上 8 階の建物にという計画が、街並みに対して突出したものにしないようにとの配慮が、建て主から求められた。

そのため隣接するアパートメントに高さをそろえる形で 6 階までを SRC 造とし、内部に設けた 4 本柱のラーメン構造を主体としている。外周部の跳ね出し部に腰壁状の鉄筋コンクリート壁を配して、間に溶融亜鉛メッキ燐酸処理鋼板を貼り付けている。

その上部 2 層のオーナー邸部分は鉄骨造の組柱に切り替えて、4 隅に 3 本ずつ鉄骨の柱を設けて、下層部との剛性の均一化を図っている。壁面をセットバックさせてガラススクリーンを外壁に立て、周囲に対し存在を消去させる、ミニマリズムのアーティスト、ドナルド・ジャッドの作品のようだと評されたのは、うれしく思った。

構造の金箱温春先生の厳しい構造監理の下、施工者もやり直しを求められたり、設計の変更もあったものの、今回のような激甚災害を目の当たりにすると、改めて厳密な構造監理の重要性を認識する次第である。

なお、われわれの事務所のある麻布という地の、馴染みのある場所での仕事は、楽しいものだった。今後もこのような機会があれば、と思う。

(北山恒氏 談)



所在地：港区
 構造：SRC 造+一部 S 造
 規模：地下 1 階、地上 8 階
 用途：物販店舗、住居
 (賃貸・オーナー)
 設計：北山恒 /
 architectureWORKSHOP
 構造設計：金箱温春 /
 金箱構造設計事務所
 施工担当：岩泉、寺井、
 池山
 撮影：阿野太一

①全景。1 階は天井高 5 1 00 mm。ガラスファサードの内部に柱が見える。商店街からの通行人にも、緑がよく見える。ガラスファサードのオーナー邸部分はプライバシーも配慮されている②8 階、オーナー邸。メゾネット形式で、建物の外壁からセットバックさせてガラススクリーンで囲い、デッキが取り囲んでいる。コーナーの組柱は梁で繋がっている③4 階賃貸部。周囲は鉄筋コンクリートの腰壁がめぐる④地下 1 階オーナー邸オーディオルーム⑤賃貸部水廻り。最低限の設備で、必要のないときは、引き戸を閉じて、見えないようにすることができる

「ZENグループ 新入社員研修」 3月28日～4月22日まで 場所：熱海・伊豆山研修センター

3月28日（月）より3週間にわたって、ZENホールディングスの今年度の新入社員30名が、熱海・伊豆山研修センターで研修を受けています。

ZENホールディングスでは「第2創生期」を迎え、組織、人材の育成強化を全社をあげて行って行く予定です。その第1期ということで、陣頭指揮を執るのは、長田弘・元西洋ハウジング社長、ZENホールディングス人事担当・石川氏、そして、弊社社長森村の3名です。

研修プログラムは、午前中は90分単位の講義が2時限。午後は1時限の講義の後、6時まで全員屋外における作業を行います。4チームに分かれ、下記のとおり実施していきます。

1. 石切チーム：山頂近くの石切り場までの林道整備。途中の東屋（あづまや）の修理を試みるものの、壊れて一から作り直すことになった。基礎のコンクリートを打つ必要があるが、大変なのが、資材の荷揚げ。セメントを担いでの山道の往復は、厳しい鍛錬となる。
2. 見晴らしチーム：近くの山の頂上までの林道整備。伐採を行い、見晴台の手すり、ベンチの製作などを行う。
3. 畑チーム：荒れた畑を開墾し、じゃがいも、その他の作物の種の植え付けを行う。但しイノシシが出るので、イノシシ防止対策も必要。敷地を囲む竹柵を作るために、竹を切り出したり、支柱の柱のために間伐材を伐採したりする作業も行う。イノシシを捕らえる落とし穴を作り、遊び心満ちたプログラムも。
4. プールチーム：施設内のプールに付属する更衣室の塗装工事、工具置き場の整備を行う。

これらの作業プログラムは、汗を流すことの大切さを身をもって知ってもらうことが目的です。

「例えば、房総半島も見えるような絶好の景色が臨める休憩小屋に、ただ歩いて登った感動とはわけが違う。資材をあげること、物を作り上げることの大変さを知ってこそ、見える景色がある。また、荒れた畑を耕し、夏に収穫をする。その喜びを知って、改めて食物のありがたさを感じる。苦しみを体験した人だけが知ることができる感動を与えたい」と作業プログラム全般を担当している森村は、その効果を期待しています。

新人たちは、長い合宿によって、机上の学びだけだった学生時代から、生活に根ざした経験の大切さを学び、新たに社会の一員として、各会社でスタートすることになります。



①講義中の新入社員たち



②作業前に指示を出す森村



③基礎コンを打ったところ



④畑の開墾作業



⑤イノシシよけの竹柵をつくる



⑥プール塗装



⑦女性も含めて総勢30名の元気あふれる新入社員たち

株式会社 辰 の新人のご紹介（研修センターでの撮影のため、作業着で失礼します）



皆川 勝（みなかわ まさる）

日本大学大学院生産工学研究科卒
私は父が現場監督をしており、何度か現場に行く機会があり、施工管理の仕事に興味を持ちました。そのため、大学では建築工学を専攻していました。この大学で勉強した知識と、現場での経験を少しでも辰で活かしてがんばりたいと思います。



谷 健司（たに けんじ）

東京工芸大学工学部卒
自ら進んで行動し、仕事に対して積極的に取り組みたいと考えています。何かといたらない点があり、いろいろとご迷惑をおかけするかもしれませんが、少しでも早く仕事に慣れ、戦力になれるように一所懸命がんばります。

Fallingstar Terrace (白山K邸) 現場見学会を開催しました 4月2日

10月に続き、また新たに現場見学会。今回は、設計事務所様のスタッフの皆さんが中心です。Rのラインが美しい建物で、今から出来上がりが待ち遠しいデザインです。



建物の模型で説明する東先生



弊社管理担当竹原と図面を確認



現場の前の小学校も桜のつぼみが



スタッフの方の質問に丁寧に説明



先生のご家族も見えて和気藹々



Fallingstar Terrace で記念撮影

さる4月2日(土)に、東京計画研究所の皆様をお招きしてK邸建物見学会を行いました。研究所は丹下事務所出身の方々が2000年に設立し、K邸設計者の東秀音先生(東アトリエ主宰)が取締役所長をしておられます。

白山K邸はFallingstar Terraceと名付けられF.L. ライトのFallingwater(落水荘)等の住宅のイメージを取り入れて設計された建物です。当日は現場事務所にお集まりいただき、弊社から歓迎の挨拶・工事工程を説明し、東先生からは模型や図面を使いながら建物のコンセプトや構造のご説明がございました。

全体のイメージが出来たところで現場にご案内しました。RC造3階建ての住宅で、工程としてはコンクリートの打設が完了したところでした。若い所員さんからは「ここにダム穴と書いてありますが何の意味ですか?」「コンクリートを打設する時はどのような順番で打つのですか?」「Rの型枠はどのように施工するのですか?」などなど・・・様々なご質問を受けました。そして、屋上[Fallingstar Terrace]をご案内した際には、四方が見渡せる景色に皆様から「羨ましい」との声が上がりました。向かい側の小学校の桜のつぼみも膨らみ、春の陽気とあいまって、ほのぼのとした雰囲気の中での見学会となりました。

これから、サッシュ取付けや内装工事に進んでまいります。6月の竣工時には、内覧会をご計画されているとのこと。「その際には、良い建物を皆様にご覧いただけるようがんばろう!」と現場員一同気持ちを新たにしました一日でした。

(報告:営業部 石井)

「神宮前5丁目計画新築工事」地鎮祭 3月14日



1,2階が店舗、3階がオーナー住戸となります。

構造: S造
規模: 地上3階
用途: 物販店舗+専用住宅
設計: 溝口健二建築設計計画
完成予定: 2011年10月

「吉祥寺 K邸新築工事」上棟式 3月28日



着工日より庭用敷地が50坪広くなりさらにゆったとした庭園と建物となります。

構造: RC造
規模: 地上2階
用途: 専用住宅
設計: 椎名政夫建築設計事務所
完成予定: 2011年6月

「新井2丁目PJ新築工事」地鎮祭 4月1日



グレードの高い9世帯の集合住宅の工事が着工いたします。

構造: RC造
規模: 地上5階
用途: 共同住宅
設計: タカギプランニングオフィス
完成予定: 2012年1月

編集後記

・東日本大震災後、自粛ムードが広がっていますが、行き過ぎた自粛は、ただでさえ後退している日本経済にさらに追い打ちをかけるという意見が出てくるようになりました。日本中がショックを受けた震災ですが、さらに前向きに過ごす活力を取り戻したいものです。